



真鶴中学校だより 第二二二号

# 鶴からの手紙

2020.12.25

責任者  
市川 麻美

二〇二〇年が  
暮れていきます…

この一年を振り返ってみると、一月末から『新型コロナウイルス』が話題に上り、二月には日本国内で感染が拡大し、学校が休業するという前代未聞、これまでに経験のない状況となりました。令和二年度が何とか全校の再開まで苦しい自粛の時間が続きました。

学校再開にあたっては、『新しい生活様式』のもと『学校生活様式』も改めざるを得ませんでした。生徒の皆さんは、しっかりその様式を受け入れ、定着しています。とて



もありがたいことだと思っています。感染拡大が未だに衰えない中、常に自分の生活習慣をチェックしましょう。決して感染予防対策を緩めることがあってはいけません。どうか真中生は、『感染予防対策は万全！』であってほしいと思います。

話は変わり、十一月中旬〜十二月十八日まで二年生と校長面接を行っていました。(三年生は一月に受検(験)直前で行い、一年生は二月以降予定しております、よろしくお願います。)その中で、『真鶴中学校の良いところは?』と言う質問に、みんな次のように答えていました。『学年を越えて仲が良い、たぶん生徒が少ないから』『あいさつ運動をしている』『明るく元気』と。

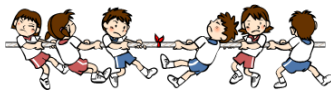
えるようになってきているのだということ。校長相手の面接ですから、できる限りのいいことを話そうとしているでしょうが、真摯に話す姿勢から、美辞麗句を並べているわけではないと確信できます。



二年生は、生徒会活動において三年生からのバトンを引き継いでいます。先日(二十一日)心地よい晴天の中(きつと生徒の皆さんの行いが良かったのですね!)行われた『スポーツ交流会』でも三年生のリーダーシップのもと、二年生の活躍も光っていました。そしてそれにつられて一年生も精一杯の力を出し切っていましたね。先生たちも思わず応援に力が入っていました。真鶴中の『暖かさ』を感じました。これからも、全校生徒が当たり前に『明るく元気なあいさつ』を交わし、さらに『暖かい笑顔』あふれる学校にしていきたいように。

## スポーツ交流会

四〜五月の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にかかる臨時休業により実施できなかった運動会に替えて、十二月二十一日(月)にスポーツ交流会を実施しました。毎年実施している運動会は、みんなが同じイメージをもって準備することができませんが(それでも簡単なことではなく、みんな協力して準備をすすめます)、今回は、まったくはじめてのこと。しかも準備期間もごくわずか。そんな中でも、各クラスの実行委員のみなさんが、企画・準備・運営に力を発揮し、寒さを吹き飛ばすような元気いっぱいスポーツ交流会にすることができました。



三年

今年度は特別な年。実施することができなかった運動会がスポーツ交流会という形で行われることになりました。実行委員ということで、準備や説明がきちんとできるのか、練習時間がとても少ない中、うまくいくのか、とても心配でした。

でも、みんなが実行委員(リーダー)の話をちゃんと聞いてくれたので、少ない練習時間の中でも、しっかりと取り組むことができ、当日も楽しくできました。協力ありがとうございました。

三年

今年は新型コロナウイルスの影響で、運動会の代わりにスポーツ交流会という形で他の学年と関わる事ができました。数少ない練習しかありませんでしたが、普段あまり接点のない一、二年生とも多く関わる事ができました。スポーツ交流会当日も、思っていた以上の充実した交流会になりました。それぞれの競技で全員が全力で取り組み、楽しむ事ができて、うれしかったです。



三年

私はスポーツ交流会をとおして、リーダーの大変さと楽しさを知ることができました。みんなに交流会の目的や練習及び当日の流れ、競技方法などを説明するのは、ただでさえ



大きな声を出さなくてはならないのに、今回はマスクをつけているので、口の動きも伝わらず本当に大変でしたが、みんなもしっかり話を聞き、しっかりと反応もしてくれて、とてもうれしかったです。リーダーという役割で参加したことで、チームの一員であることをさらに強く自覚できたので、より一層スポーツ交流会を楽しむことができました。

三年

これまでにない、初めての行事のスポーツ交流会の実行委員として、私はチームをまとめることができるのか、当日まで不安でいっぱいでした。今年ではできなかったけど、これまでやってきた運動会と比べてチームがたくさんあり、その分だけチームにいる三年生の数も少なく、練習の時に説明したり、チームをまとめるりすることが、とても難しかったです。



終わってみると、普段あまり関わる事のない一、二年生とも関わる事ができて楽しいスポーツ交流会になりました。

### 大掃除をしました

年末といえば、大掃除。どの家庭でも、どの学校でも、この会社でも行われるもの?真鶴中でも十二月二十四日(木)の六校時に実施しました。各クラスで分担して、普段の掃除ではなかなかやりきれない細かなところまで、みんな一生懸命掃除していました。

真鶴中の校舎は、新しい建物ではありません。建築後、長い年月がたち、傷んでしまっているところも数多くあります。でも、古いからといって、掃除をしなかったり、雑に扱ったりすると、さらに傷みが増し、生活に支障が出てきてしまいます。しかし、三年生のリーダーシップのもと、どの生徒も大掃除だけでなく普段から丁寧に清掃活動に取り組んでいます。また、昇降口の靴箱や教室のロッカー、扉、トイレなど、古いものも丁寧に扱い、古いに生活しやすい学校を維持しています。放課後には、環境委員を中心に教室のワックスがけも行い、「古くてもきれいな学校」にさらに磨きがかかりました。



### 準備が大切です

暑さ真っ只中の八月二十四日に始まった二期も今日(二十五日)で終了です。始業式は放送で実施しましたが、今日はリモート



ト終業式を行いました。リモートには、生徒も先生もだいぶ慣れてはきましたが、実はこの日のために、先生方はかなり準備や練習をしています。ものごとをスムーズに進めるためには、何事も準備が大切です。

### よろしくお願ひします



学校全体では紹介するタイミングが取れず、授業でクラスに入ったときに紹介してきましたが、改めて学習指導員を紹介します。英語の授業やマナビアワーで授業補助や指導にあたります。よろしくお願ひします。